



2020年8月4日

ペプチドリーム株式会社

<https://www.peptidream.com/>

(証券コード：4587 東証第一部)

RayzeBio 社とのペプチド放射性医薬品に関する 戦略的共同研究開発契約締結のお知らせ

ペプチドリーム株式会社（代表取締役社長：リード・パトリック、本社：神奈川県川崎市、東証第一部）は、米国・サンディエゴ市に本拠を置く RayzeBio Inc.,（以下 RayzeBio 社）との間で、ペプチド-放射性核種（Radioisotope）薬物複合体（以下 ペプチド放射性医薬品）の創製に関する戦略的共同研究開発契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

本契約に基づき当社は、両社で選定した標的分子に対し、当社独自の創薬開発プラットフォームシステム：PDPS（Peptide Discovery Platform System）を用いて、複数のプログラムでペプチド薬物複合体（Peptide Drug Conjugate、以下 PDC）として使用する新たなペプチドの同定及び最適化を行います。RayzeBio 社は、それらペプチドを用いたペプチド放射性医薬品に関する全世界での開発および商業化の独占的な権利を有します。当社は非臨床段階までの研究開発を主導し、RayzeBio 社はその後のトランスレーショナルリサーチ、臨床開発および商業化を主導いたします。

本契約の締結に伴い、当社は RayzeBio 社から契約一時金として RayzeBio 社の一部株式を受領いたします。また今後、開発および商業化の進捗に合わせてマイルストーンや、製品化後は売上金額に応じたロイヤルティーが当社に支払われます。

がん治療分野において放射性医薬品の高い抗腫瘍効果への関心が高まっております。当該領域において当社は、2018 年に日本メジフィジックス社との間で戦略的共同研究開発契約、2019 年にはスイス・ノバルティス社との間でペプチドに放射線核種を結合させるペプチド薬物複合体の共同研究開発を締結しております。今回の RayzeBio 社との戦略的共同研究開発契約の締結は、当社が戦略的に取り組みを進めているペプチド放射性医薬品分野において、リーディングカンパニーとしての当社の優位性をさらに強化するものと考えております。

【ペプチドリーム株式会社 代表取締役社長 リード・パトリックのコメント】

「RayzeBio 社と新たなペプチド放射性医薬品の創製に向けた戦略的共同研究開発契約の締結について発表できることを大変うれしく思います。当社は臨床候補化合物の探索および最適化を主導し、RayzeBio 社はその後のトランスレーショナルリサーチ、臨床開発および商業化を主導いたします。今回の RayzeBio 社との戦略的提携は、世界中の病気で苦しんでいる患者さんに、ファースト・イン・クラスまたはベスト・イン・クラスの治療薬を提供するという当社目標の実現に向けて大きな推進力になるものと期待しております。」

【ペプチドリーム株式会社について】

ペプチドリーム株式会社は、「日本発、世界初の新薬を創出し社会に貢献したい」という創業理念のもと、2006 年 7 月に設立されました。独自の創薬探索システム PDPS (Peptide Discovery Platform System) を用い、極めて広範囲にわたる特殊ペプチドを多数（数兆種類）合成し高速で評価を可能にすることで、創薬において重要なヒット化合物の創生、リード化合物の選択、もしくはファーマコフォアの理解を極めて簡便にしかも効率的に行えるようにしました。これによりペプチドリーム株式会社は特殊ペプチドを用いた創薬企業の世界的なリーダーとして世界中の病気で苦しんでいる人々に画期的新薬を提供することを使命として、研究開発に取り組んでおります。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

ペプチドリーム株式会社 IR 広報部 岩田
TEL : 044-223-6612